



一般質問

聴力検査

高齢者への導入で

認知症予防を

「介護予防事業の中で検討していく」



議員 寝たきりになる要因の一つに、耳の疾患が挙げられる。難聴も認知症も、症状が進行してから気づく。難聴

から認知症へと進展させないためには、定期的な検診が有効である。

①高齢者の特定健診に最新型簡易チェッカーを用いた聴力検査を導入してはどうか②難聴の早期発見に向け、要

手塚 静枝 議員



「簡易聴覚チェッカー」(ペンキンスポイス) (ジェービーエレクトロニクス株式会社提供)

支援者にも聴力検査を導入してはどうか。

福祉部長 ①特定健診は個別方式のため、各医師の調整は難しい②難聴などの早期発見は重要である。介護予防

集約し、実施計画に反映させていきたい。

議員 現在、検討が進められている。荒川水循環センター上部利用計画に、太陽光発電所を加えられないか。

荒川水循環センターに太陽光発電施設を

「都市公園として検討している」

山崎 雅俊 議員



議員 現在、検討が進められている。荒川水循環センター上部利用計画に、太陽光発電所を加えられないか。

都市整備部長 平成15年に「大地の森」計画を策定して、県民や市民が広く利用できるよう検討してきた。今後、4回の懇談会にて意見を



▲未整備の第1～第4系列(荒川水循環センター)

議員 再生可能エネルギー普及の観点から、環境担当部局では、どのように考えるか。

市民生活部長

保、地球温暖化対策の点で、再生エネルギー施設導入の可能性が高い施設ではないかと考える。太陽光発電

災害協定は結んでいるか②家具転倒防止の器具や取りつけ工事費の助成をしてはどうか③上空からの救助・救済を迅速化させるため、学校屋上等へ校名表示をしてはどうか。

上下水道部長

①災害時の罹災者数を想定した、安全な水質の水量が十分確保されている。戸田市水道協同組合と協定書を結び応急復旧を行うこととして

施設については、計画が未定の第1系列から第4系列に設置する余地があるものと思われる。荒川水循環センターは、地球温暖化対策条例の特定事業者となっているので、エネルギーの創出や温室効果ガス削減のために、埼玉県への要請を考慮していきたい。

議員

原発ゼロに近づけていくために、市でも新エネルギー政策に取り組みべきではないか。

総務部長 ②転倒防止対策に積極的に周知を図る。助成については研究する。③学校屋上のヘリサイン表示は、前向きに検討している。

その他の質問

Q 障害者虐待防止法の取り組みについて。A 予防や早期発見への方策を検討する。

副市長 将来に向け、国のエネルギー政策を練り直すことが課題となっている。市として、どのような取り組みが可能なのか、国や先行自治体の情報を積極的に収集しながら、広い視野で研究を行い、市の方向性を検討していきたい。

戸田市表彰

対象者を見直しては

「現在のところ考えていない」



議員 現在の戸田市表彰制度において、議員の特別職が表彰対象となっている。行政のお手盛りに対する厳し

い市民感情を考慮し、対象外としてはどうか。

政策秘書室長

現在のところ、表彰基準や制度の再検討は考えていない。

酒井 郁郎 議員

図書館を乳幼児にも使いたす

議員 従来、図書館は、乳幼児の利用に余り配慮されてこなかった。一方、この時期に読書習慣をつけられ

馬場 栄一郎 議員

サービス受給待機者の出現を防げ

「総合振興計画で定員を増やす」



議員 障害者自立支援法及び児童福祉法が来年4月に改正施行されるが、戸田市への影響は。また、戸田市障害福祉計画の見直しは。

福祉部長

施設の実施主体の変更や事業費の4分の1を新たに市で負担しなければならぬ。戸田市障害福祉計

画は、第3期が平成24年度から始まるが、国から指針が示されていない。国の動向を見て、計画を策定する。

議員

改正によって新設される「放課後等デイサービス」の整備は。

福祉部長

放課後、訓練を継続的に提供することにより、障がい児の自立の促進、放課後



▶児童デイサービス事業所(中町)

の居場所づくりを推進するものである。児童デイサービスの移行先の位置付けであるが、県の補助事業「障害児

議員

改正により児童発達支援が位置付けられたことで、関連施設の利用者が増加する可能性がある。この事業は、採算性が厳しい事業である。市は、需要動向を見極め、待機障害児の出現がないように、事業者に助成などの支援を行い、新規参



▲図書館の読み聞かせ

教育部長 ①スペースの問題はあるが、努力したい。②③についてはLED照明に切り替えたり案内表示を出すなど、工夫したい。

放課後児童クラブ」からの移行も考えられる。

議員

改正により児童発達支援が位置付けられたことで、関連施設の利用者が増加する可能性がある。この事業は、採算性が厳しい事業である。市は、需要動向を見極め、待機障害児の出現がないように、事業者に助成などの支援を行い、新規参

熱中症対策

議員 今年も非常に多くの熱中症患者が報告されている。特に、ご老人や乳幼児、ワーキングプア世帯など、夏の暑さに弱い方たちの犠牲が戸田市で増えぬよう、対応願いたい。

教育部長

見守り、声かけなど、継続的な取り組みを実施している。

入を含め、定員確保に努めてほしい。

福祉部長

第4次総合振興計画においても、現在の人数を増やすことになっている。

その他の質問

Q 美笹安心ネットワークの他地区展開は。A 各地域包括支援センターの考えを尊重し、体制づくりを進める。

\*特別職：選挙による選出や地方議会の同意が必要とされている職。市長や市議会議員など。